

保護者様

横浜市立神奈川小学校
校長 田名部 和美

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度実施した全国学力・学習状況調査(小学校6年生・中学校3年生対象)の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

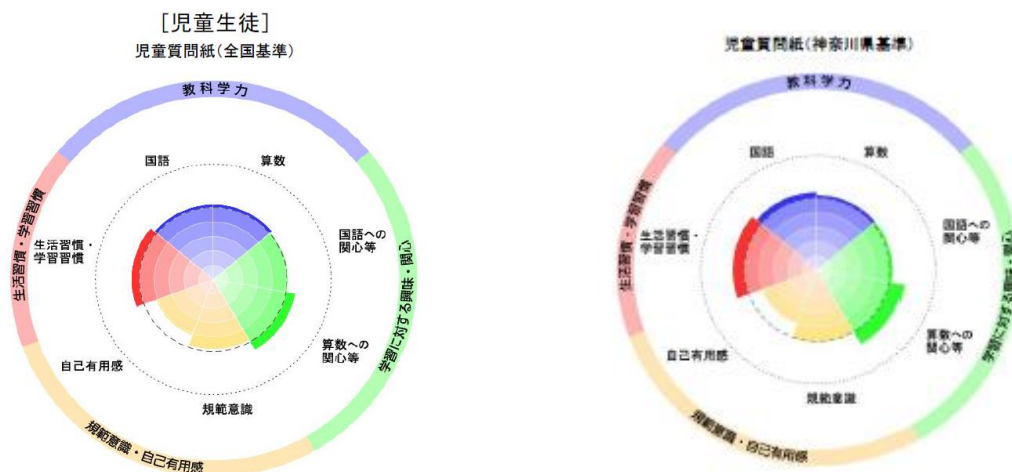
(1) 教科学習状況調査結果「平均正答率(%)」

	国語	算数
神奈川小学校	68%	64%
神奈川県	66%	63%
全国	67.2%	62.5%

【教科学習状況調査結果の考察】

「国語」「算数」ともに、全国、神奈川県の平均正答率を上回る結果となった。「国語」においては、「書くこと」や「読むこと」については全国平均正答率を上回ったが、「話すこと・聞くこと」については下回った。国語を中心として、相手意識をもち、意図や主張について正確に理解し、適切に表現する学習や情報の整理の仕方についてより一層充実させていく必要がある。「算数」においては、二次元の表を読み取ったり、式や言葉を使って求め方や理由を説明したりする問題についての正答率が低かった。学習内容のより一層の定着・活用を進め、既習事項を生かして自分の考えを表現する力を伸ばしていけるようにする。

(2) 質問紙調査結果 (教科学力領域は、上記の教科学習の値)



【質問紙調査結果の考察】

学習に対する興味・関心について、「国語」は全国や県の平均とはほぼ同程度、「算数」は平均を上回っている。学力は「国語」「算数」ともに全国の平均と同程度、県の平均とは「算数」より「国語」の方が平均を上回るという興味・関心とは反対の結果となっている。今後も引き続き学習に対する関心をより高めることで、学力もさらに高めたい。

意識調査の値について、「生活習慣・学習習慣」「規範意識」については平均を上回っているが、「自己有用感」は平均を大きく下回っている。道徳科の学習の充実や横浜プログラムなどを用いた自己有用感を高める学習を進めていく必要がある。